

平成27年度

ちょっといいはなし 立春

2月

菅原 純さんを迎えて
音読発表会を成功させましょう！

2月 1日（月）体育館・

多目的室



- ①体育館での学年練習
- ②放課後の教職員研修

菅原さんは 宮城県気仙沼の出身です。宝塚歌劇団を8年前に退団し、人形作家の道に進まれました。縁あって、宝塚歌劇団時代、身に付けたセリフの言い回し、表情や発声を教えていただけることになったのが2年前。今回もお忙しくなったお仕事の時間を調整し、「今年の音読発表会を成功させよう！」という熱い願いに快く引き受けてくださいました。人の縁に感謝です。

「音読発表会」は、あまりなじみがないかもしれません。音読発表会を行っているのは、区内三谷小だけと聞いています。学芸的行事の一つとして取り上げています。児童劇は学芸会として演じたり、ご覧になったりしている方が多いではないでしょうか。動作や衣装は極力避け、歌もできる限り交えずに、言葉の力で心を伝えて意向というものです。

音読・朗読で大切なことをお聞きすると、

「音読は、姿勢・発声・発音」と話されます。身振り、手振りなどの動きはありません。

ポイントは、

立ち方 … 肩の力を抜き、足は肩幅に開いて立つ（自然体）。**息の仕方** … 腹式呼吸をする。息を（胸でなく）腹に入れる。吸ったときに腹をふくらませ、吐いたときに腹をへこませる。

声の出し方 … ア段～オ段を、正しい口形（こうけい）で発音する。伸ばして読む アー、イー、ウー、エー、オー。切って読む ア、イ、ウ、エ、オ。まずは、このあたりをがんばってくださいとのことでした。

「音読発表会」は、普段の授業の読解や読書の授業など言葉の学習と結びつきながら、基本的な「読み」の力を身に付けることが目的です。学級によっては、日記や作文を授業で取り上げたり、学級通信で紹介したりして読み合い、感じる力を育てています。1分間スピーチを行っている学級もあります。その成果を2年に1回の音読発表会で現せたらと考えます。ことばの楽しさ、日本語の美しさを、耳で体で受け止め、感動をたたえられたら成功です。

連絡先： 副校長 内田美津子

3390-0164